



平成26年 6月10日

各 位

会社名 日本テレホン株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 執行役員  
 高山 守男  
 (東証 JASDAQ スタンダード: 9425)  
 問合せ先 取締役執行役員 経理財務本部長  
 茶谷 喜晴  
 電話番号 06-6881-6611

## 平成26年4月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年4月期（平成25年5月1日～平成26年4月30日）の通期業績について、平成25年12月9日付、「平成26年4月期 第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました通期の業績予想との間に、下記のとおり差異が生じる見込みとなりましたのでお知らせ申し上げます。

記

### 1. 平成26年4月期（平成25年5月1日～平成26年4月30日）の通期業績予想の修正等

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	6,901	73	80	70
<b>今回修正予想 (B)</b>	<b>7,653</b>	<b>131</b>	<b>145</b>	<b>123</b>
増減額 (B-A)	751	57	65	53
増減率 (%)	10.9	78.7	81.3	75.1
(ご参考) 前年実績 (平成25年4月期)	6,171	△24	△7	28

### 2. 通期の業績予想数値の修正理由

通期の業績予想数値の主な修正理由につきましては、当社主力である移動体通信関連事業において、移動体通信端末機器の販売台数は、前事業年度において実施した不採算店舗の閉鎖に伴う販売拠点数の減少や、スマートフォンの販売比率上昇に伴う接客対応時間の長時間化等、販売効率の低下も相俟って、僅かながら減少したものの、一方、売上高においては、主要通信事業者3社からの新型「iPhone」を始めとした高額な新機種の新機種導入に加え、消費税率引き上げ前の駆け込み需要等の増加により、前事業年度を上回る状況で推移してまいりました。

この結果、移動体通信端末機器の販売台数は、前事業年度を下回る結果となりましたが、売上高におきましては、6,388百万円（販売台数 72.4千台）と前回予想 6,208百万円（販売台数 75.6千台）に比べ売上高で179百万円、2.9%上回る見込みではありますが、販売台数では3.1千台、4.1%下回る見込みであります。

また、その他の事業分野におけるリユース事業におきましては、課題である中古携帯電話機の確保において、インターネットを利用したWEBサイトでの買取機能の強化に加え、新たに国内外の法人企業からの調達ルートの開拓を通じ、仕入元チャネルの整備・拡充に努めた結果、仕入状況について改善の兆しが見られ、これを契機に情報通信ショップやエコたん専門店における店頭販売を強化すると共に、法人向け販売やインターネットでのWEB販売、更には旺盛な購買意欲に支えられた海外向け販売に注力してまいりました。

この結果、同事業における売上高は 841 百万円（販売台数 43.8 千台）と前回予想 461 百万円（販売台数 30.4 千台）に比べ 売上高で 380 百万円、82.4%上回る見込みであり、販売台数においても 13.3 千台、44.1%上回る見込みであります。

以上の結果により、売上高全体は、7,653 百万円と前回予想 6,901 百万円に比べ 751 百万円、10.9%上回る見込みであります。

また、営業損益につきましては、販売促進費等の一部の費目においてコストの増加があったものの、種々経営効率の改善に努めた結果、営業利益は 131 百万円と前回予想 73 百万円に比べ 57 百万円、78.7%上回る見込みであり、経常損益、当期純損益につきましても、経常利益 145 百万円と前回予想 80 百万円に比べ 65 百万円、81.3%増、当期純利益は 123 百万円と前回予想 70 百万円に比べ 53 百万円、75.1%の増加となる見込みであります。

以 上

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。